

2019年（平成31年・令和元年） 山のトイレを考える会 活動報告

山のトイレを考える会

1. フォーラム案内、ニュースレターを送付（2019年1月23日）

第20回山のトイレフォーラム案内とNO.20ニュースレターを会員及び関連団体へ約400通送付しました。
2. 平成31年度定期総会の開催（2019年3月16日）

第20回フォーラム開催日に定期総会を開催しました。平成30年度事業報告、会計報告、平成31年度事業計画案、予算案について承認を受けました。
3. 第20回山のトイレフォーラムを開催（2019年3月16日）

第20回山のトイレフォーラムが札幌エルプラザ・環境研修室1・2で40名の参加者を迎えて開催しました。テーマは「トムラウシ・美瑛富士問題のこれから」です。発表は次の3テーマでした。

 - (1) 2018年美瑛富士携帯トイレブースの取り組みについて：
環境省東川自然保護官事務所 自然保護官 齋藤明光氏
 - (2) トムラウシ南沼汚名返上プロジェクト2年目の活動と今後の取り組み
十勝総合振興局環境生活課 主任 牛嶋あすみ氏
 - (3) 美瑛富士・携帯トイレシステム試行4年目の活動報告
美瑛富士トイレ管理連絡会 事務局 仲俣善雄氏

環境省の美瑛富士アンケート調査（101件）では、携帯トイレ普及取組みの認知度は86%（昨年66%）、所持率77%（昨年62%）と昨年より向上しました。

トムラウシ南沼での携帯トイレ普及取組みの認知度は89%、所持率は93%と高率でした（114パーティ・件）。

議事要旨とフォーラム資料集はホームページに掲載されていますのでご覧ください。
4. トムラウシ南沼汚名返上プロジェクトに参加協力
 - (1) トムラウシ南沼汚名返上プロジェクト（事務局：十勝総合振興局）の活動は3年目となりました。2017年、2018年とアンケート調査を実施した結果、現行の1基では不足であることが分かり、1基増設することとなりました。

7月10日、プロジェクトメンバーの新得山岳会、環境省、十勝総合振興局が役割分担して設置することができました。現行のブースも塗装を施しリニューアルしました。

 - (2) 事業の一つであるアンケート調査に協力しました。8月31日～9月1日、トムラウシ南沼でのアンケート調査に小枝代表と仲俣事務局長が参加しました。荒天でテントは

我々のほか2張のみ。アンケートは2枚しか回収できませんでしたが、増設された携帯トイレブースとリニューアルされた既存のブースを見学することができました。

5. 美瑛富士トイレ管理連絡会による点検パトロールの実施（2019年6月23日～9月29日）

2015年に開始した美瑛富士避難小屋へのテント型携帯トイレブースの試行的設置は5年目となり6月23日設置しました。環境省は過年度からの試行で必要性和有効性が明らかとなり、6月に固定式携帯トイレブースの新設工事を発注、9月10日に運用開始しました。

考える会では一昨年、昨年に引き続き、無料携帯トイレを避難小屋内に配備し、携帯トイレを所持していない登山者に使ってもらうことにしました。150個用意しましたが、持ち出しは142個でした。これは3年間の施策で2020年は実施しない予定です。

美瑛富士トイレ管理連絡会による点検パトロールは下記のとおり全部で8回実施することができました。

- ・6月23日（日）…テント型携帯トイレブースの設置：9名
(環境省・美瑛山岳会・山のトイレを考える会等)
- ① 7月14日（日）…札幌山岳連盟：11名
- ② 7月21日（日）…日本山岳会北海道支部：2名
- ③ 7月28日（日）…北海道山岳連盟：6名
- ④ 8月 4日（日）…道北地区勤労者山岳連盟：6名
- ⑤ 8月11日（日）…山のトイレを考える会：3名
- ⑥ 8月18日（日）…大雪山国立公園パークボランティア（PV）連絡会：14名
- ⑦ 9月 1日（日）…道央地区勤労者山岳連盟：8名
- ⑧ 9月18日（水）…北海道山岳ガイド協会：2名
- ・9月24日（火）…テント型携帯トイレブースの撤収（環境省）
- ・9月29日（日）…固定式携帯トイレブースの冬囲い：5名
(環境省・美瑛山岳会・山のトイレ・大雪山国立公園PV連絡会)

6. 札幌地下歩行空間（チカホ）で写真展（2019年8月2日～3日）

札幌の地下歩行空間で一般社団法人大雪山・山守隊の主催で写真展が二日間に亘って開催されました。考える会と大学の研究者も山守隊から出展を呼びかけられ参加することができました。写真展の訪問者は二日間で663人と多くの人が足を止め見ていただきました。

声をかけていただいた山守隊に感謝いたします。

7. 山のトイレマップの配布

「大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言」が今年の7月10日に発表されました。当会では、少しでも宣言に寄与できるよう、山のトイレ、携帯トイレブース、および携帯トイレ回収ボ

ックスの位置、登山口近くの販売店が載るトイレマップを作成し、各所に配備・配布しました。

配備先は宿泊施設、ビジターセンター、森林管理署などの協力をいただき、大雪山国立公園の11カ所で6,400部、知床、利尻山等で1,600部、全部で8,000部配布しました。来年も実施する予定です。

8. 北海道地方環境事務所主催の会議に出席

環境省北海道地方環境事務所主催の「表大雪地域登山道情報交換会」「東大雪地域登山道情報交換会」は春季と冬季のそれぞれ2回開催され出席しました。

会議では山のトイレの現状や当会の活動を報告し協力をお願いしました。

(以 上)